

命の丘（一ツ葉地区）

憶地域まちづくり推進委員会広報誌 あおき
年2回発行

あおき

第19号
2021.Mar.

令和3年3月発行



Contents

憶地域まちづくり推進委員会	P2~5
憶地域自治区地域協議会	P6~7
憶地区社会福祉協議会	P8~9
憶公民館	P10
宮崎地区交流センター	P11
憶地域事務所	P12



広報「あおき」は「地域コミュニティ活動交付金」を活用して発行しています

●夢と希望が育つまち●

憶

2021-2022

3月末より、憶地域事務所・憶公民館・宮崎地区交流センターにて配布しております。

憶児童館にて配布しております。

3月末より、憶地域事務所・憶公民館・宮崎地区交流センター！

コロナ禍で強い絆を！

制作：憶地域まちづくり推進委員会 《地域コミュニティ活動交付金活用事業》

新しい憶のカレンダー、できました。

《表紙の説明》

南海トラフ巨大地震の津波被害に備え、県が宮崎市のみやざき臨海公園・一ツ葉地区に整備を進めてきた津波避難施設（通称・命の丘）が完成しました。

長さ212メートル、幅18メートル、高さ13.5メートルの高台に3280人の収容を見込んでおり、県が管理する沿岸の避難施設としては県内最大規模となるようです。



安全対策部会



今年度は地域合同防災訓練や青パト講習会・総会などが新型コロナ感染拡大防止のために中止となりましたが、感染が落ち着いていた期間に潮見小学校の防災教育と楳小学校の図上訓練を支援する事ができました。

また備蓄非常食購入事業では、保存水（リベラルーツ葉・楳北小学校）と保存食（リベラルーツ葉・楳北小学校・地域事務所）の入れ替えを実施、青パトによる巡回は感染予防対策を徹底したうえで何度か実施する事が出来ました。しかしながら、隊員の感染を考慮し現在は、やむなく休止しております。



地域安全表示の設置は自治会協力のもと、赤江大橋下と高洲町の2ヶ所に設置することが出来ました。

事業が幾度も中止となり、部会自体も例年の半分程しか開催できない状況でも、できる範囲でやれる事はやれたのかなと思っております。ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

まだ暫くは様々な制限がある中での活動になるかと思いますが、他の部会とも連携を取りながら知恵を出し合い、コロナ禍でも何かできる事を見つけられるようにしたいと思います。

安全対策部会

文化部会



新型コロナウイルスの感染拡大防止により、文化部会でも制限のある活動を余儀なくされました。

「楳の文化の継承・発掘・保存事業」におきましては、「楳の盆踊り」の継承活動のみになりました。



したが、楳小へ出向いて踊りや唄、おはやしの指導を行いました。

3年生が運動会で練習の成果を元気よく発表してくれました。

また、「あおきのカレンダー製作事業」では、部会で数年間収集した名所旧跡観光地等のデータを活用し令和3年度カレンダーも製作にこぎつけました。

地域の皆さんがこの会報誌をご覧になるころには、今までとはちょっと違ったカレンダーが完成し配布できるようになっています。



文化部会

福祉部会



子育て支援事業

下記の事業がコロナ禍のためすべて中止になりました。

- おしゃべりカフェ
- お兄ちゃん、お姉ちゃんと遊ぼう
- チビっ子運動会
- 思春期の子どもを持つ保護者向けの研修会

ふれあい会食会事業

今年度はコロナ禍の中でしたが感染防止（マスク・三密・消毒・換気等）に気をつけて3地区実施しました。

7月以降に予定していた地区は県内で感染拡

大緊急警報が発令されたのでその後の会食会は中止となりました。

救急医療支援事業

地域内の高齢者や障がい者などの救急時に安全・安心を確保するため「救急医療情報キット」の活用に取り組んで来ました。



今年は北消防署東分署を訪問して、情報キットの説明と消防隊員が必要とする内容について意見交換を行いました。3年度は情報用紙の内容を変更しカラー用紙で印刷します。

福祉部会

地域再生部会

地域まちづくり掲示板設置事業



今年度は、新たに地域まちづくり掲示板を1台設置し、10月末に自治会に引渡しました。

【設置場所：寺ノ下】

また、ひび割れたアクリル板を強化ガラスに

交換し、8月中旬に自治会に引渡しました。

【交換場所：大町、曾師北】

憶地域人材育成事業

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止や緊急事態宣言に伴い、下記の事業が中止となりました。

- ・以前に設置した掲示板の利活用状況等の確認
- ・パソコン初心者講習会
- ・あおき元輝塾



環境部会

* 一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業

最近、宮崎港、マリナー等新しい施設が目立ちますが、昭和の初期の一ツ葉入り江には数軒の割烹や民家が有り、入江や新別府川でコイ、フナ、ボラ、ウナギ、トワタリガニ、シジミ等の魚貝が沢山採れ、食卓に上がったものでした。

市内の学校のお別れ遠足はほとんどの学校が一ツ葉まで歩いての往復で行われ、宝探し、ボール遊び、陣取り等時間を忘れて遊んだのが思い出で、お弁当、お菓子を食べ、帰りの際には枝振りの良い大きな松の木に登ってクラス写真を撮り帰路についたものでした。今でも遠足や市民のピクニック、散歩、ジョギングで親しまれている入江の砂嘴にて、子育てを行うチドリ、コアジサシの保護活動に取り組み10数年が過ぎました。近年はカラス、カモメ等の天敵の被害に遭い、残念ながら結果は見られませんが、砂嘴のゴミの清掃、営巣地の整備等、「コアジサシプロジェクト」と名付けて市民の皆さん、憶中、宮中生徒の皆さんと行って

きましたが、今年は新型コロナウイルス禍で活動を縮小して部会員のみで実施しました。

* 新別府川、江田川等をきれいにする事業

- ① 河川の透明度や臭いを調べる水質検査によるデータの蓄積(2月、8月実施)
- ② 江田川の絶滅危惧種「コウホネ、ミズキンバイ」の保護と環境浄化のため、部会員による川面や堤防の除草作業実施。
- ③ 新別府川の濁り解消対策を県当局に要望の継続。
- ④ ホタルを部会員と憶北小3年生が飼育して2月に山崎エコアップ会と一緒に江田川上流に放流。
- ⑤ 里山の風景と古代の歴史、ロマンを語る遺跡などを巡る「江田川を散策する会」については中止。学校の支援事業は「ミニ水族館・田植え・稲刈り・ホタルの飼育」等を行いました。

* 憶地域花いっぱい運動事業

「ひまわり里親プロジェクト運動」として東日本大震災の教訓を忘れないように、学校や地域方々にひまわりを育て、種を収穫し毎年3月11日に福島に届ける活動をしています。

今年も憶中、宮中の生徒会の協力を得て発送しました。

スポレク部会

皆さん、お元気にお過ごしでしょうか！

今年度は、新型コロナウイルスの影響により事業の中止を余儀なくされ、ほとんど実施することが出来ませんでした。

地域の方々や子どもたちとの交流が出来ずに

とても残念でした。(部会員の力も発揮できませんでした。)

地域づくり・仲間づくりや健康維持増進などをコンセプトに、感染防止対策をしっかりとりながら、部会員一致団結して今後も頑張っていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

教育連携部会

中学校との連携

● 檜中学校・宮崎中学校「ひまわり里親プロジェクト」「檜地域花いっぱい運動」

今年度は、新型コロナのために、例年行っている宮崎市中央公園でのひまわり栽培ができませんでしたが、景観課から花（ピオラなど）の苗の配布を受けて11月15日に植栽しました。きれいに咲きほこり訪れる人々の目を楽ませています。

小学校との連携

● 潮見小学校「防災学習」他

5年生の総合学習で、防災の専門家でもある黒岩部長が、「巨大地震と津波からの避難」というテーマでコロナ禍において地震が発生したときの避難について講話をしました。



● 檜小学校「防災マップを作ろう」他
4年生の総合学習で、安全対策部会の皆さんの協力のもと、校区内の防災マップづくりの一環として「災害図上訓練」が行われました。

● 檜北小学校「アイガモ米」を作ろう 他

5年生の総合学習で、檜北小の伝統ともなっている「アイガモ米」の稲刈りが、環境部会の皆さんにも指導していただいていた行われました。



● 宮崎港小学校「発酵食品を学ぼう」

昨年2月、地域の方の指導を受けてみそ作りの体験を実施した。みその熟成期間(5ヶ月)が終わり、現6年生に配布されました。

未来へつなぐ体験スクール

今年度は、コロナ禍のため行われませんでした。

表彰

・宮崎市教育委員会
わかば賞(小さな善行)

今村大地君〈檜中学校3年生〉

1	2	3	4	5
A				C
6		7		8
9	10		11	
	12		13	
			D	
14	E	15		
		16		
		G		
17	F	B	18	

みんなで解いて 応募してね! 檜クロスワード

2重枠A・B・C・D・E・F・Gを並べた言葉が答えです。

A B C D E F G

応募締切
4/30(金)
当日消印有効

地震

新型コロナウイルスだけでなく、地震の災害にも気配りを!

新型コロナウイルス感染症から身を守るための3つの対応

【下記の事項に注意しましょう】

会食での工夫(家でも外でも)

料理は個々に出しましょう
座席配置の工夫しましょう
取りばし・トングの活用を!

マスクの着用(周囲への思いやり)

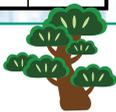
マスク越しに思いを伝えましょう

手洗い・手指消毒(まめに消毒を!)

きれいな手で食事しよう

ヒント

- 有名家電会社の旧社名です。
- 針葉樹です。お祝いのランク〇・竹・梅
- 出口の反対語
- 窮地に追い込まれたときや忙しいときに助けてくれる人。
- 石の大きなもの。地殻を形成しているかたい物質
- ことばで表される内容やわけ。
- 神仏に祈願すること。
- 金銭や物品などのつかいみち。
- 乳を飲む幼児。
- 幸い・幸福のこと、まちづくり推進委員会にも〇〇部会があります。
- 水道の出口での口金。じゃ口
- 読みかけの書物にはざみ目印にするもの。



賞品はこちら



タテのヒント

- 魚肉や野菜等を細かく切って、酢にひたした食べ物
- 手縫いで仮止めすること。
- 西洋では馬に乗った人。夜を英語で?。
- 七宝の一つでこん色の宝石。〇〇色。
- 夏、高校野球の甲子園で名物となった、ビニール袋にストローを差した冷たい飲物。
- 大きい深さかずき。勢よく一息に飲む事
- 道徳や法律に犯した行為や処罰。
- 体長約1m犬歯がつき出で、むやみに突進してくるイメージがある動物。
- 過失によって起こした火災
- 土地の区域。一区画の土地
- 時間の単位。時・〇・秒



応募方法

はがき、FAX、メール、持参可(用紙の形式は問いません。)必要事項を明記の上、お申し込み下さい。
①答え、②住所、③お名前、④年齢、⑤電話番号、⑥檜のまちづくりについてのご意見をお書き添えの上、ご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方に檜地域の特産品を差し上げます。
※当選者には事務局よりご連絡差し上げます。
※なお賞品を事務局まで取りに来ていただける方に限らせていただきます。

応募先

檜地域まちづくり推進委員会事務局
〒880-0841
宮崎県宮崎市吉村町江田原甲265-1
TEL.28-0101・FAX.83-0050
E-mail:aoki-machi@miyazaki-catv.ne.jp



憶地域自治区地域協議会 ～主な協議内容～

第1回（令和2年4月／書面協議）

- 令和元年度憶地域まちづくり推進委員会の事業報告及び収支決算について
- 令和2年度憶地域まちづくり推進委員会の事業計画及び収支予算について
- 令和元年度地域のお宝発掘・発展・発信事業（憶人事業）の事業報告及び収支決算について
- 令和2年度地域のお宝発掘・発展・発信事業（憶人事業）の事業計画及び収支予算について

第2回（令和2年7月1日）

- 第8期憶地域自治区地域協議会会長及び副会長の選出について
- 憶公民館の建替えについて

第3回（令和2年8月25日）

- 子ども食堂について（市からの説明）
- 吉村通線平塚工区（仮称）の建設促進と地域の交通安全対策について
- 憶公民館の建替え場所について

第4回（令和2年9月30日）

- 憶公民館の建替え場所について

第5回（令和2年11月18日）

- 憶地域自治区の分割について
- 憶公民館の建替え場所について

第6回（令和2年12月23日）

- 宮崎市庁舎のあり方について（市からの説明）
- 令和2年度地域のお宝発掘・発展・発信事業（憶人事業）の事業報告及び決算見込み、令和3年度以降の事業計画について
- 憶公民館の建替え場所について
- 専門委員会の委員長、副委員長の選任について

第7回（令和3年3月24日開催予定）

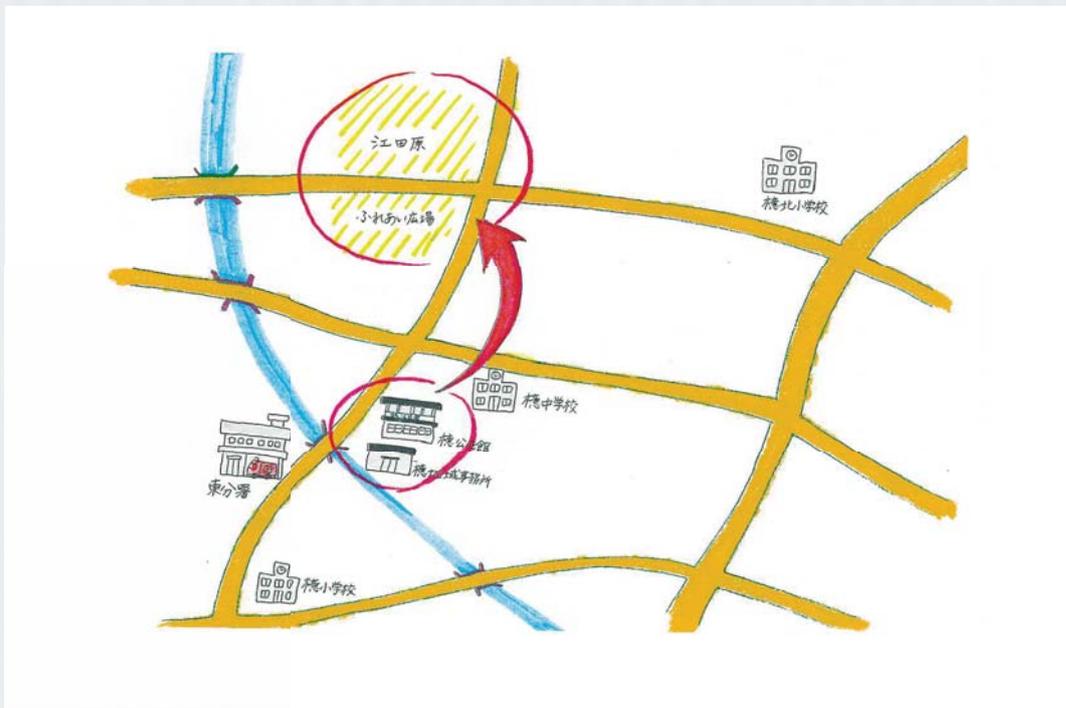
- 令和2年度憶地域まちづくり推進委員会の事業報告及び決算見込みについて
- 令和3年度憶地域まちづくり推進委員会の事業計画及び予算（案）について
- 令和2年度宮崎市への提言について



topics トピックス

檜地域自治区地域協議会では、檜公民館・檜地域事務所の建替え場所について、下記のとおり議論を重ね「江田原ふれあい広場に移転新築し、檜公民館の跡地を代替公園として整備してほしい」との意見にまとまりました。

意見を受けて、市では今後の施設整備の進め方について検討が行われます。



～地域協議会での主な意見～

◆江田原ふれあい広場への移転

- ・都市公園移転の手続きが必要(代替公園の建設)。
- ・公園利用者や公園の近隣住民へ理解を求める必要がある。
- ・新別府川から遠く防災拠点として安心。子や孫の世代が利用することを考えると、建替えが1年や2年延びたとしても安全面(防災面)を優先したい。
- ・公共交通機関の利用を考えると広い道に面しているほうがよい。また、将来、吉村通線が開通した際にも利便性が高くなる。

◆現地建替え

- ・標高は江田原ふれあい広場と変わらないが、新別府川から近く防災拠点として心配。
- ・災害時に指定避難所である檜中学校と隣接しているほうが避難しやすい。
- ・檜地域事務所内にまちづくり推進委員会事務局があるが、将来を担う若者が通う中学校のすぐ近くにまちづくりの拠点があることはありがたい。
- ・江田原ふれあい広場の利用者や地域住民の理解、代替公園の必要性など移転よりも解決すべき課題が少なく建替えが進みやすい。

憶地区社会福祉協議会

基本方針 ～みんなが安心 助け合う福祉のまち 憶～

住み慣れた地域で、生きがいを持ち、安心して暮らせるまちづくりを目指すために、住民同士が互いに助け合い、支えあって生きていける思いやりのあるやさしい地域づくりが求められています。

そのために、各種団体、関連機関、地域住民との連携をより深め、住民主体のまちづくり推進の一環としての福祉活動を推進します。住民同士の交流の場、地域団体同士の連携、住民の連帯意識の向上、防災、特に要援護者対策等に考慮して地域福祉活動を推進してまいります。

令和2年度の事業

○憶地区ふれあいサロン代表者情報交換会 7月20日(月) 憶地域事務所

コロナ禍でサロン開催を見合わせている状況の中、サロン代表者9名、地区社協6名が集まり情報交換会を行いました。今後の活動の参考に各サロンの現状の報告、悩み等を話し合いました。



○憶北小学校4年生 総合的な学習の時間(福祉学習)の支援 生徒105名 憶北小学校体育館

認知症サポーター養成講座：11月4日(水)

ファシリテーター(進行協力)として民生委員10名、地区社協5名が参加しました。



ふれあって広げよう笑顔の輪：11月6日(金)

地区社協が行っている高齢者に対する取り組みについて井野会長が話をしました。

みんな熱心に聞いてくれて最後には質問もたくさんしてくれました。



○福祉協力員 新任研修会 11月20日(金)

今年度はコロナ感染防止のため、新任者のみに絞って研修を行い、21名の参加がありました。福祉協力員・井手和子さんにインタビュー形式で事例発表をしてもらいアンケートには、具体的な見守り活動の仕方が分かり参加してよかった等の意見がたくさん書かれてありました。



○憶小学校2年生 生活科学習の協力 11月25日(水)

生活科学習「レッツゴーたんけん!」で生徒99名・先生5名が地域事務所、まちづくり推進委員会、憶公民館、地区社協を見学に来ました。各施設の仕事を説明した後でそれぞれたくさんの質問がありました。後日、2年生一同よりお礼のお手紙をもらいました。



〇ボランティアの日 in あおき 粗大ごみ収集します！ 12月12日(土)

今年度はコロナ感染予防のため例年のようなボランティア派遣はできませんでしたが、少しでも手助けをしたいと思い粗大ごみ収集に絞りました。事前に民生委員さんよりニーズ調査を行ってもらい、あがってきたニーズを検討し、計12件のニーズに対応しました。軽トラック4台に分かれて粗大ごみを収集し、地域事務所で一旦全部集め、2トントラックに移し替えて収集所へ運びました。協力してもらった16名のボランティアの方々からは、今後もこういう活動を続けていきたいという感想をいただきました。また依頼者の方からも、一人暮らしで運搬できず困っていたので大変助かったとお礼の言葉をもらいました。



コロナ禍で工夫して活動に取り組まれている方々の紹介

ひまわりふれあい生き活きサロン..... 代表者 伊関 富子さん

コロナ禍でサロンが開催できない中、サロン利用者にお便りをスタッフで分担して見守りを兼ねて訪問配布をしました。

また初めての試みで、代表者の伊関さん宅で11月に利用者を1回2班ずつ分散してサロンを開催しました。久しぶりにみなさん集まって顔を合わせられてとてもうれしそうでしたとのことでした。また半分の班しか実施できていないので、3月からはまた再開できるといいですとおっしゃっていました。



傾聴ボランティアあおきダンボの会 代表者 西野 宏さん

久しぶりに開催できた10月の定例会に会員14名の参加があり、その中で、訪問できない施設の利用者の方々に少しでも寄り添い、思いを伝えるために寄せ書きを作成することにしました。みんなの思いが詰まった寄せ書きが完成し、施設へ届けられました。



檍地区ボランティア大募集！

「みんなが安心 助け合う 福祉のまち 檍」を目指して...
1人1人が無理なく、出来る範囲で、檍地区を支援していきましょう。



檍 あおき地区
社会福祉協議会

みんなが安心
助け合う
福祉のまち
檍

お気軽にご相談ください
☎(0985)20-2147
宮崎市吉村町江田原甲265-1

檍地区社会福祉協議会

〒880-0841 宮崎市吉村町江田原甲265-1 檍地域事務所内
TEL・FAX/0985-20-2147
Email:aokishakyo@miyazaki-catv.ne.jp

前期講座のご案内

前期9講座が5月から始まります。楽しく学べる講座です。詳しくは、3月末宮崎市生涯学習課発行予定の「令和3年度前期公民館講座案内」をご覧ください。

心おどるフラワーアレンジメント



バラのアレンジメント講座で、きれいな花の飾り物を一緒に。

数独、解ければ気分爽快に！



脳トレに直結したパズルゲームの解き方のコツを伝授します。

おいしい料理を時短クッキングで



アツという間においしい料理が。毎日の料理が楽しくなりますよ。

俳句をはじめませんか？



昨今身近で詠われる様になった俳句。あなたも気軽に詠ってみませんか？

スマホを自在に使いこなそう



まだ遅くない！けど少しでも早く。今や誰もが必須のスマホを自在に。

未来に向かって憶を元気に



憶のことを楽しく学ぼう。〈小中学生対象〉

バドミントンをはじめませんか？



基本が大事なスポーツ。マスターできればあなたもスターに。

パンパカパンのパン作り



切っても切っても同じ顔。その他楽しい顔のパン作りを学ぼう。

楽しくシェイプアップ



楽しく踊って身も心もシェイプアップしよう。

憶公民館新刊図書のご案内

憶公民館図書の貸出は、市立図書館利用者カードでできます。

タイトル	作家	タイトル	作家	タイトル	作家
「織細さん」の本	武田友紀	人は話し方が9割	永松茂久	店長がバカすぎて	早見和真
家族じまい	桜木柴乃	かごと木箱と古道具と	坏みほ	素敵な日本人	東野圭吾
サキの忘れ物	津村記久子	家族写真の魔法	森藤ヒサシ	むれ	ひろたあきら
注文の多い料理小説集	柚木麻子 他	ママはかいぞく	カリヌ・シリユグ	どんなかんじかなあ	中山千夏
からだの細菌キャラクター図鑑	岡田晴恵	志麻さんがうちに来た	タサン志麻	「体を温める」とすべての痛みが消える	坂井学
夏物語	川上未映子	流浪の月	凧良ゆう		

他館の図書の貸し出しについてお知らせ

宮崎市立図書館のホームページを利用して、憶公民館で宮崎市立図書館／佐土原図書館の図書の受け取り(金曜日14時以降)及び、返却(公民館入口のBOX)ができます。ぜひご利用ください。

宮崎地区交流センター

あつまる まなぶ つなぐ

宮崎市吉村町ハシテ甲2386番地139
TEL:20-3512 FAX:24-2492



今年度はコロナウイルスに振り回された1年でした。感染拡大防止のために4月から何度も休館になり、利用者の皆様にはご迷惑をおかけしました。特に、交流センターとして大きな2大行事である「文化祭」「成人式」の中止は、大変残念でした。また、ふれあいスポーツ祭・ミニバレーボール大会の中止だけでなく、その他の色々な会議なども中止を余儀なくされ、資料の配付で済ませざるを得ませんでした。

後期の公民館講座から(一部紹介します)



【レッツエンジョイフラ】



【本場のキムチ作り】



【記紀の物語】



【手ごねパン作り】



【ハングル入門】



【いっぱいあそび】



【忍者にんにん】



令和3年度の前期公民館講座の案内

令和3年度に計画している公民館講座です。早い講座は5月から始まります。詳しくは、3月に市から自治会を通して全戸配布されます市全体が記載された講座案内をご覧ください。

	講座名(成人向き)		講座名(親子・子ども向き)
1	初めての木工	1	夏休みチャレンジ!初めての習字1・2・3年生
2	楽しい英会話	2	夏休みチャレンジ!習字教室4・5・6年生
3	郷土の民謡を大師範と楽しく歌おう	3	キッズ・プログラミング教室
4	おうちフィットネス	4	夏休みチャレンジ!俳句
5	スマホ・タブレットを使いこなそう	5	夏休みチャレンジ!陶芸
6	知らなかった陶芸の世界	6	よちよちさんあつまれ!!

新刊図書の紹介(どうぞご利用ください)

宮崎地区交流センターで購入した新刊図書です。閲覧は自由ですが、貸し出しには市立図書館のカードが必要になります。どうぞご利用ください。

◎成人向き	書名(著者)	◎子供向き	書名(著者)
1	2020年6月30日にまたここで会おう(龍本哲史)	1	音で楽しむ昔ばなし(1)ももたろう(絵:中山信一)
2	破局(遠野遥)	2	音で楽しむ昔ばなし(2)3びきのこぶた(絵:オカタオカ)
3	少年と犬(馳星周)	3	音で楽しむ昔ばなし(3)うらしまたろう(絵:いといゆき)
4	おとめ六法(上谷さくら、岸本学)	4	あつかったら めげばいい(ヨシタケシンスケ)
5	海の極小!いきもの図鑑(星野修)	5	ことわざ生活 あっち編 (絵:ヨシタケシンスケ 文:あかいわしゅうご)
6	生き物の死にざま(稲垣栄洋)	6	ことわざ生活 こっち編 (絵:ヨシタケシンスケ 文:あかいわしゅうご)
7	ベストの記憶(ダニエル・デフォー/武田 将明)	7	異常気象のサバイバル1(ゴムドリco.)
		8	異常気象のサバイバル2(ゴムドリco.)
		9	地震のサバイバル(洪在徹)



★ 檜地域事務所で **証明書** を発行しています。



- 住民票の写し・住民票の記載事項証明書 ● 市税に関する諸証明書(所得証明書等)
- 戸籍謄本・戸籍抄本・身分証明書等(本籍地が宮崎市の方のみ) ● 健康手帳
- 印鑑登録証明書
(印鑑登録番号証書もしくは有効期限内の住基カード、個人番号カードと4ケタの暗証番号の入力が必要です)
- はり・きゅう・あんま施設利用者証(国民健康保険、後期高齢者保険医療加入者が対象)

交付の際には
本人確認を
行っています。

※滞納無証明は市民課・総合支所での発行となり、地域事務所では発行できません。
※代理の場合、本人からの委任状が必要になることがあります。事前にお問い合わせ下さい。
※住民異動や戸籍の届出、印鑑登録、市税等の申告や納税はできません。

詳しくは、宮崎市のホームページやNTT西日本タウンページ内の「宮崎市暮らしの便利帳」にも掲載があります。

《窓口業務》月～金曜日 8時30分～17時15分 ※土、日、祝休日、年末年始はお休み。【TEL:28-1111】



エコ活動 **してみませんか?**



檜地域事務所内に使用済小型家電ボックス・廃食用油回収ボックスを設置しています。

25cm×10cmの投入口から入る小型家電を集めています。入らないものは「燃やせないごみ」として出してください。

使用済小型家電回収ボックス

回収対象品(42品目) ●ICレコーダー ●ETC車載ユニット ●音楽プレーヤー ●カーナビ ●懐中電灯 ●携帯電話 ●携帯用テレビ ●小型マッサージ器 ●コントローラ ●スピーカー ●体重計 ●デジタルカメラ ●トランシーバー ●ビデオカメラ ●ファクシミリ ●フィルムカメラ ●ヘアアイロン ●ドライヤー ●補聴器 ●万歩計 ●小型充電式電池 ●家庭用電動吸入器 ●DVD(BD・HDD・ビデオ)プレーヤー ●ハードディスクドライブ ●ヘッドホン、イヤホン ●電子機器付属品(ACアダプタ、充電器、ケーブル類) ●ゲーム機(携帯型・据置型) ●電子玩具及び電動式玩具 ●電子時計及び電気時計 ●電子血圧計 ●電子辞書 ●電子書籍端末 ●電子体温計 ●電気かみそり ●電卓 ●電動歯ブラシ ●電動バリカン ●電話機 ●USBメモリ ●ラジオ ●リモコン ●電子たばこ ●加熱式たばこ

「使用済み小型家電」の回収品目の追加

小型充電式(モバイルバッテリーを含む)などが原因と思われる、「エコクリーンプラザみやざき」での発火トラブルを防ぐため、次の品目を「使用済み小型家電」として令和元年10月1日から回収しています。

- 小型充電式電池(本体・充電器)
- 電子たばこ・加熱式たばこ
(電池が取り出せる場合、中から取り出し単体で!)



※上のマークがついた充電電池(バッテリー)単体のみ、今までどおり電器店など回収も可能

廃食用油回収ボックス

家庭から出る使用済てんぷら油や賞味期限切れの食用油で植物性のものを回収しています。

一 檜地区拠点回収

【使用済み小型家電回収ボックス】檜地域事務所・宮崎地区交流センター・イオン宮崎(1階イオンスタイル食品入り口)・生活協同組合コープみやざき宮脇店
【廃油ボックス】檜地域事務所・宮崎地区交流センター・ながの屋浮之城店
【乾電池回収ボックス】檜公民館・宮崎地区交流センターに設置していましたが、令和2年3月31日で廃止となりました。「その他資源物」の収集の日(月1回)に出してください。

各施設の業務(営業)時間
のみの回収となります。



使用済小型家電ボックス

※小型家電回収ボックスの投入口(縦10cm×横25cm)に入るものに限ります。

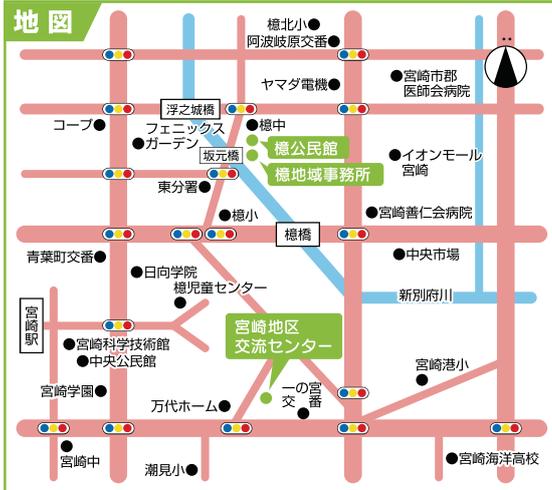
あおき人 no.9 地域の話の人を紹介していきます。

石川 伸一さん(58歳)

今回ご紹介するのは檜北地区民生委員児童委員協議会長の石川伸一さんです。お住まいは浮城地区です。

令和元年12月より前任の井野三男さん(社会福祉協議会長)の後任として就任され、地域福祉の向上や高齢者福祉、子どもの健全育成に全力で頑張っているといえます。過去には檜中学校のPTA会長もされ、現在も浮城町自治公民館長や宮崎市青少年指導員、檜地区社協副会長、檜地区地域協議会、まちづくり推進委員会の安全対策部会長等幅広い分野でご活躍中です。

そのリーダーシップが評価され、昨年4月からは檜地区生涯学習推進協議会長に新たに就任されました。中止になりましたが檜地区総合文化祭や檜地区成人式の開催責任者として、万全な対応で準備されていたのに残念なことでした。今後も健康に留意していただき、【みんなで取り組む「住みたい・住み良い」魅力あふれるまちづくり】のスローガンを実践する檜地域の若手リーダーの中心としてさらなるご活躍を期待します。



宮崎市ホームページに「檜地域の情報」を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。➡

編集・発行 皆さまの声をおまちしています!

Http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp



檜地域まちづくり推進委員会

〒880-0841 宮崎市吉村町江田原甲265-1《TEL0985-28-0101・FAX0985-83-0050》

E-mail:aoki-machi@miyazaki-catv.ne.jp